

ドイツ フランクフルト市 ペトラ・ロート市長演説

(2011年9月27日)

どうもありがとう。(日本語で)

林市長様、同僚の林様と呼びかけさせていただきます。

佐藤議長様、

川辺副議長様、

ご臨席の皆様、

市会議員の皆様、

ドイツ第三の都市で市民から直接選ばれた市長として、市政の主権者である市民から選ばれた横浜市会議員の皆様がその議会において、この異境からの来訪者に対して演説の機会を与えてくださることがいかに名誉なことであるか承知しております。横浜市がフランクフルト・アム・マイン市に対してお示しくださったこの民主主義と友好の証に感謝申し上げます。

ご臨席の皆様、横浜市とフランクフルト・アム・マイン市を結びつけるもの、共通するものから、私達が21世紀において直面する様々な問題を克服するために必要な力は生まれてまいります。私は、今世紀が過去とはまったく違う世紀になるであろうことを確信しております。過去の世紀は、日独両国にとって、とりわけ暴力の世紀、人権を無視した世紀でした。

1945年以降、両国は第二次世界大戦での敗北と、それぞれの文化の中でそれぞれのやり方で、しかし民主的に向き合っていました。その過程において、日本の皆様も私達ドイツ国民と同じように、結びつきからこそ力が、新しい強い力が生まれ得るという認識に行き着いたという経験をお持ちだと思います。

なぜなら、結びついてこそ友情を芽生えさせることができるからであります。都市の間にも友情は育まれます。そして、都市に息を吹き込むのは市民、社会に息を吹き込むのは市民です。友好都市とはすなわち、横浜市民とフランクフルト市民の間の友情に他なりません。この意味において、今日という日は両市にとって偉大な日であると、私は断言することができます。

両市には共通点が多く、そしてその共通点にこそ両市を結びつける潜在可能性がありま

す。両市とも国際競争のただ中にあり、グローバル化した世界の中で日々状況判断をし、世界経済では生き残りをかけた競争が行われています。経済、飢餓、民主主義の権利と資源の保護など 21 世紀が抱える諸問題において、両市はともに主導的な立場にあります。気候変動にあっては両市ともしかるべき責任を担い、自然保護、環境保全に尽力しています。それはとりもなおさず、この地球を後の世代に引き継いでいくためです。後の世代がこの地球上で彼らの責任のもとで彼らの世界を形作っていくことができるようにするためであります。つまり、私達は後の世代のために遺産を残していかねばならないのです。世界中の資源が枯渇しないよう維持し、それによって後の世代が彼らなりに最善の世界を作ることができるようにしなければならないのです。

この意味において、私は市長として、またフランクフルト市の市議会等も同様の考えですが、持続可能性とは次のようなものであると理解しております。すなわち、新機軸を追求しつつ、その一方で、永続的なもの、変わらないものを作り出す必要があることを忘れてはいけない、ということです。永続性に相対するのは性急さであります。

教育とは、永続的なもの、変わらないものを伝えることです。永続性は責任を前提とします。市会議員の皆様、永続性が実現されるのは、ひとつの才能ももれなく受け止められた時であります。どの人にも才能があるのです。私達はその才能を認識し、伸ばしていけばいいのです。民主主義に基づいて選ばれた私達は、才能が社会で見過ごされることがないようにしていかなければなりません。教育政策と民主主義の中で、議会として人権と教育を受ける権利を追求し実現してまいります。

個々人の能力、個々人の興味関心、それぞれが持ち合わせている潜在可能性に応じて、教育の道筋は描かれていかねばなりません。それを社会に示し、市民に選ばれた者として政策によって実行していかなければならないのです。このような基本に立ち返れば、そこにはまた、私達を結びつける多くのものがあると私は確信しております。

こういったことを、生徒の交流を通して促していきたいと考えています。林市長様、若い人達にも両市のパートナーシップの担い手になっていってもらえるよう、ともに働きかけてまいりましょう。林市長様と私が本日署名したパートナー都市提携をしっかりと担っていってもらえるように。

なぜなら私達は、友情には基盤、民主的な基盤、平和的な基盤が必要であり、その基盤は横浜市民とフランクフルト市民の取り組みによって育まれることを知っているからです。

私達の未来、私達の共通の未来を考える時、これからの自然と文化の関係について思いを巡らせ守っていくことは価値あることです。文化について考えるなら、自国の文化に対する理解から、考え方の異なる他国の文化に対して目を向け開いていくということでしょう。

この考えに対して、横浜トリエンナーレがどのような示唆を与えてくださるのか、私はとても楽しみにしています。横浜トリエンナーレについて私が読んだところでは、アーティストック・ディレクターの三木あき子氏は中でも神話と奇跡、不可思議なものと解明されていないものに興味をお持ちとのことでした。三木氏が、ヨーロッパと日本のシュールリアリストとネオシュールリアリスト達をどのようなコンテキストでとらえられたのか拝見するのを楽しみにしております。神話の魔力からの解放に関しては、科学や理性による解明ということで私達の文化の出番であります。

フランクフルト市は、啓蒙の精神に基づき、またフランクフルト市における文化および多文化の融合という思想の伝承に基づき、カルチャーキャンパスを創設する予定です。

この計画を決定し、財源を確保する上で、当プロジェクトは市の政策上極めて野心的なプロジェクトとなっています。ゲーテ大学が今のキャンパスおよび建物から移転した後、その大学跡地には音楽家・舞踏家、俳優およびその他の文化クリエイターが、つまり21世紀を背負う文化クリエイター達が入居することとなり、そこで大きな吸引力を発揮していくでしょう。

このカルチャーキャンパスはフランクフルト市の中心に位置し、フランクフルト市の都市再開発の中心的プロジェクトとなります。しかし、当プロジェクトは都市開発政策の枠に留まるだけでなく、都市開発の歴史の一部と位置づけることができます。つまり、様々な社会層が文化を通して出会い、啓蒙する中で互いに学び合い、創造と資源保全に対する責任を担うというヨーロッパのポリスの理念の一つと位置づけることができます。

この学術、創造、文化、教養のキャンパスの跡地、また哲学者アドルノのフランクフルト学派の跡地を、我々はモデル地区として再開発していく予定です。ここをまずはアンサンブルモデルンのアーティスト達に更に飛躍できる活動拠点としていきます。アンサンブルモデルンはアジア、ニューヨークでも公演を行い、広州では私共の姉妹都市訪問の機会に演奏しました。みなさんのご賛同をいただければ、次回我々の訪問の際にアンサンブルモデルンを横浜に連れてきたいと思っています。またアンサンブルモデルンと共に、世界的に有名なビリー・フォーサイスのフォーサイス・カンパニーも大学跡地の緑

豊かなカルチャーキャンパスに入居する予定です。

同様にフランクフルト市の都市計画の中核となっているのが、欧州中央銀行の新築プロジェクトです。フランクフルトは約20年前、欧州中央銀行のドイツおよびヨーロッパの拠点として選定されました。目下、欧州中央銀行の新しい建物が建設中です。新しい建物はこれまでの金融都市フランクフルトの高層ビルとは全く異なる建築様式を用いています。建設は「脱構築主義建設」で世界的に有名な建築設計事務所コープ・ヒンメルブラウが担当しています。共通通貨ユーロと欧州財政政策という側面と、解体要素を再構築するという脱構築主義建設の間にある種の緊張状態が生まれています。

林市長様、今欧州中央銀行はメイン川沿いの8階にありますが、林市長様が11月にフランクフルトを訪問される時には、200メートルを超す新築が出来上がっていることでしょう。ジャパンウィークのオープニング式典では、ヨーロッパの金融政策に関する合意を象徴する欧州中央銀行の新しい姿を見ることになるでしょう。

林市長様が御一行と共にフランクフルトに訪問される時、欧州中央銀行の新築プロジェクトの規模についてご紹介したいと思っています。その建物の規模は上空からしか把握できませんが、しかし実際、欧州連合は27カ国へ拡大し、その内の17カ国がユーロを導入しています。この背景のなかで、欧州中央銀行が国際的にもリベラルで、開かれた文化を持つフランクフルトに存在していることは大きな意味を持ちます。

今、その欧州単一通貨の番人の長期的視点が極めて重要となっています。番人の知識および加盟国政府の賢明さによって始めて、欧州の政治機構を維持することができるのです。維持するためには断固たる態度で臨むべきであると私は思います。我々はドイツ議会政治の議員です。フランクフルト市議会議長と私は、ドイツ人として、欧州連合の中でも尽力して行く意志があることをこの場で申し上げておきたいと思っています。

欧州連合のお陰で20世紀後半我々は画期的転換を図り、また、60年以上にもわたり平和を持続することができています。このことから我々は教訓を得ました。その教訓を伝承して行きたいのです。更には、この教訓を基にして、我々は模範になっていきたいと思っています。ただし、人として模範となるのではなく、学習する能力を持つという意味で模範になりたいのです。ここでもまた、「結びつくことで、力が沸いてくる」という考え方を訴えたいと思います。

来年、フランクフルト市は欧州連合のグリーンシティー賞に応募する計画にあります。これは欧州連合が、環境に優しいクリーンな人口集中地帯および大都市圏に与えている

賞です。フランクフルト市は応募するのに値するだけの実績を積んできました。今、更なる対策も導入するところです。我々は、環境と持続可能性に高い優先順位を与え、政策を進めてきました。ですからフランクフルト市はグリーンシティ賞に応募するので、それだけの実績を積んで来てからです。例えば賃貸及び分譲住宅などでもパッシブハウスの建設を進めてきました。新しい建材を投入することで二酸化炭素などの排出を抑制することができます。ですから市内で健全な環境を維持するという点で、フランクフルト市はドイツのみならず、ヨーロッパでもトップを行っているのです。

同時に我々は市内の交通で電気自動車の導入を促進しています。地下での誘導ループや充電ステーションの設置など、電気自動車用のインフラを市の独自の財源で整備していきます。

IAA（国際モーターショー）については偉大な自動車生産国である皆様はよくご存知でしょう。IAA は来場者 92 万 5000 人を数えて先週日曜日に閉幕しました。来場者および自動車産業から明示されたことは、産業界は大都市圏の e-モビリティを推進していくということです。フランクフルト市はヨーロッパにおける e-モビリティのモデル地区の一つになっています。我々は、フランクフルト市がトップのモデル地区となるよう政策を推進して行きます。

今申し上げた「推進」というのは 21 世紀の人類の共生にとって大きな意味を持ちます。共生を如何に推進して行くかは、横浜市およびフランスの友人と共に 2012 年のリヨンで開催される環境・エネルギー国際見本市（ポリュテック）で明示していきましょう。リヨンは横浜のパートナー都市であり、我々にとっても最も古いパートナー都市です。1960 年にリヨン市と姉妹都市を結びました。林市長様が述べられたように、持続性と環境保全をテーマとしたこのリヨンの見本市で、横浜市と共に我々は出展をする計画にあります。

この種の共通の目標設定は我々をさらに奮い立たせてくれるものです。共通項を発見する度に刺激が生まれてくるのです。経済分野でも横浜市とフランクフルト市の関係者の間で交流を進めていきます。また政治レベルのみならず、両市の行政レベルでも交流を進めていきます。横浜市の市会は 360 万人の市民を代表しています。これに対し我々は 70 万人を代表しているだけです。しかし、規模は小さくとも、皆様がフランクフルト市の行政能力を評価してくださり、これにより両市の行政レベルでも交流が可能となったことに誇りを感じています。

個々の事象に対する見解の相違はよくあることです。これは政治が常に直面している問

題です。しかしこれまでのフランクフルト市と他のパートナー都市との関係で明確になったことは、お互いに学び合うことができるということです。

そしてお互いに助け合うことができるということです。当然、各都市は競争関係にあります。競争はドイツ国内でも、ヨーロッパ内でも、ヨーロッパとアジア間でも、またアジアとアフリカ、アメリカおよびヨーロッパの間でもあります。しかし、都市の友好は政策上必要とされているのです。というのも大都市圏は環境問題など今後の課題を象徴する存在となっているからです。だからこそ我々は他の都市を助け、自らの知識や知見を他の都市に伝承し、また反対に他の都市からも知識を得て、それを活用したいと思っています。

我々のポーランドのパートナー都市が洪水の被害にあった時、フランクフルト市は当然のこととして援助しました。お互いに学び合うことと同じように、お互いに助け合いたいと思っています。それ故、今回も皆さん、横浜市民、横浜市会、横浜のパートナー都市である仙台市に支援の手を差し伸べることは当然のことでした。我々の財政的支援は3月11日の大災害を補うことなどは到底できません。また震災前の状態に戻すこともできません。しかし、少額であっても力になりたいのです。そして教育機関の復興に役立ててもらいたいのです。両市が協力して仙台の復興のために協力できることは素晴らしいことです。先に私がフランクフルトの市庁舎にて日本の総領事に支援の意を伝えた時、大惨事の困窮の中、正式に感謝の意を表明すること自体、困難であったはずですが、しかし我々の支援を感謝と共に受入れてくださいました。

この協力も我々をさらに奮い立たせてくれるものです。そして、その中から、「結びつくことで、21世紀に必要な力が生まれる」という確信を得ることができます。ドイツでは補完関係および相互支援こそが21世紀に必要とされています。

議員の皆様、林市長様、副市長様、この意味で、今日は我々全員にとって、そして横浜にとって、またフランクフルトにとって偉大な日となりました。

市の公式行事で私が身につける金の鎖には、「フランクフルトは正義にあつて強し」と刻印されています。この精神に基づきパートナー都市関係を築いていく所存です。ご清聴ありがとうございました。